

持続的生産強化対策事業のうち次世代国産花き産業確立推進事業に関する事業評価票（再評価）

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	対象作物・畜種名	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容		成果目標の達成状況			評価機関名	九州農政局
					達成すべき目標	目標値	基準年 令和元年度	目標年 令和6年度	達成率	具体的な取組内容	農林水産省生産局、政策統括官、地方農政局（北海道農政事務所、内閣府沖縄総合事務局）の評価所見
福岡県	—	花あふれるふくおか推進協議会	花き	R2	活動区域における花きの10a当たり収量の増加【輪ギク】	40,950 本/10 a	(H26-30) 39,000 本/10 a	37,905 本/10 a	-56%	実需者が求める出荷規格に対応する栽培技術の実証	<p>輪ギク及びスプレーマムの10a当たり収量の増加については、炭酸ガスの施用による品質向上を実証できたが、高温や半身萎凋病の影響により未達成となった。</p> <p>ガーベラの10a当たり収量の増加については、炭酸ガス施用に合わせた施肥改善により収量の増加が実証できたが、夏季の高温により未達成となった。</p> <p>トルコギキョウの販売数量の増加については、低エタノール還元消毒による還元消毒の効果はみられたものの、生産者数、生産面積が減少し、未達成となった。</p> <p>ダリアの販売数量の増加については、炭酸ガスの施用による収量増加効果の実証はできたが、燃油価格高騰の影響から加温温度を下げたことにより収量が伸び悩み、未達成となった。</p> <p>クルクマの販売数量の増加については、箱に入れる本数の増加による流通コストの削減効果について検証したが、夏場の販売数量が減少しており、未達成となった。</p> <p>ユーカリの販売数量の増加については、鮮度保持技術等による品質向上を実証できたが、生産者の減少により販売数が減少し、未達成となった。</p> <p>未達成の成果目標については、今後、事業実施主体に対して改善計画の提出を求め、達成に向けた取組を指導する。</p>
					活動区域における花きの10a当たり収量の増加【スプレーマム】	39,900 本/10 a	(H29-30) 38,000 本/10 a	36,746 本/10 a	-66%	実需者が求める出荷規格に対応する栽培技術の実証	
					活動区域における花きの10a当たり収量の増加【ガーベラ】	217,000 本/10 a	(H26-30) 206,518 本/10 a	197,886 本/10 a	-82%	炭酸ガス施用に対応する栽培技術の実証	
					活動区域における花きの生産又は販売の数量若しくは金額の増加【トルコギキョウ】	3,024,500 本	(H26-30) 2,749,532 本	2,442,547 本	-112%	低エタノール還元消毒の立枯病発生低減	
					活動区域における花きの生産又は販売の数量若しくは金額の増加【ダリア】	500,500 本	(H26-30) 454,969 本	298,590 本	-343%	収量増加技術の実証	
					活動区域における花きの生産又は販売の数量若しくは金額の増加【クルクマ】	1,475,000 本	(H27-R元) 1,340,238 本	966,350 本	-277%	箱入本数の増加による流通コスト削減	
					活動区域における花きの生産又は販売の数量若しくは金額の増加【ユーカリ】	65,600 本	(H30-R元) 32,783 本	20,950 本	-36%	採花後の管理・鮮度保持技術等による品質向上の実証	

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	対象作物・畜種名	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容		成果目標の達成状況			評価機関名	九州農政局
					達成すべき目標	目標値	基準年 令和元年度	目標年 令和6年度	達成率	具体的な取組内容	農林水産省生産局、政策統括官、地方農政局（北海道農政事務所、内閣府沖縄総合事務局）の評価所見
長崎県	—	長崎県花き振興協議会	花き	R2	長崎県内における花き生産金額の増加	91 億円	(H26-30) 82 億円	89 億円	78%	<ul style="list-style-type: none"> ・低コスト・省力生産技術等の導入実証 ・高品質化生産技術等の実証 ・花きの消費拡大プロモーション活動 	<p>花き生産金額の増加については、低コスト・省力化生産、高品質化生産、生産・加工・流通における品質管理技術実証、及び花き消費拡大プロモーションの結果、令和2年度に68億円まで減少した花き生産金額は、89億円まで増加しているものの、県の主要品目である輪ギクの作付面積の減少が大きく、回復しきっていないことから、未達成となった。</p> <p>花きの消費金額の増加については、協会において販売促進の取り組み意識は高まっているものの、昨年からの嗜好品である切り花の購入の購入を抑える傾向が続いており、目標は未達成となった。</p> <p>今後は、事業実施主体に対して改善計画の提出を求め、達成に向けた取組を指導する。</p>
					活動区域における花きの消費量又は消費金額の増加	9,042 円	(H27-R1) 8,611 円	6,646 円	-455.9%		
大分県	—	大分県花き産業振興協議会	花き	R2	活動区域における花きの販売業者の取扱数量又は販売金額の増加	307,566 千円	(H25- 292,920 千円	194,800 千円	-670%	<ul style="list-style-type: none"> ・フラワーイベントの開催等による消費拡大プロモーション活動 ・花育や園芸体験による花きの利用促進 	<p>フラワーフェスティバルを開催する等、県内における花きの消費拡大を図ってきたものの、業務需要の低迷に加え、物価高の影響から花きの消費は低迷しており、それに伴い県内の花き販売業者の取扱数量が低下し、未達成となった。</p> <p>今後は、事業実施主体に対して改善計画の提出を求め、達成に向けた取組を指導する</p>

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	対象作物・畜種名	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容		成果目標の達成状況			評価機関名	九州農政局
					達成すべき目標	目標値	基準年 令和元年度	目標年 令和6年度	達成率	具体的な取組内容	農林水産省生産局、政策統括官、地方農政局（北海道農政事務所、内閣府沖縄総合事務局）の評価所見
宮崎県	-	「みやざき花で彩る未来」推進協議会	花き	R2	【ランキュラス】 活動区域における花きの10a当たり取量の増加	66,202 本/10a	(H29) 63,049 本/10a	52,406 本/10a	-338%	・ランキュラスの品種候補選抜及び栽培技術の実証	ランキュラスの10a当たり取量の増加については、目射比例式かん水の実証による切り花本数向上等の効果が見られたが、生育期間の高温の影響により、未達成となった。 ランキュラスの資材費の削減については、従来の湿式輸送から安価な吸収資材へ変更したことにより、資材費の削減となり目標を達成した。 キイチゴの資材費の削減については、新たな乾式資材を用いた輸送試験において品質に問題がなかったため、今後資材変更について検討を行う。 ランキュラス、スイートピー及びキイチゴの消費金額の増加については、花育を来店に繋げる取組の実施やPR活動の強化が消費拡大につながり、目標を達成した。 未達成の成果目標については、今後は、事業実施主体に対して改善計画の提出を求め、達成に向けた取組を指導する。
					【ランキュラス】 活動区域における花きの流通経路間における資材費の削減	5.07 円/本	(H27) 5.34 円/本	4.81 円/本	196%	・新たな水揚げ資材を用いた輸送方法の実証	
					【ランキュラス】 活動区域における花きの消費量又は消費金額の増加	15,678 円	(H25-29) 14,931 円	19,857 円	659%	・花育等、消費拡大プロモーション活動の実施	
					【スイートピー】 活動区域における花きの消費量又は消費金額の増加	15,678 円	(H25-29) 14,931 円	19,857 円	659%	・花育等、消費拡大プロモーション活動の実施	
					【キイチゴ】 活動区域における花きの流通経路間における資材費の削減	4.84 円/本	5.10 円/本	5.70 円/本	-231%	・新たな水揚げ資材を用いた輸送方法の実証	
					【キイチゴ】 活動区域における花きの消費量又は消費金額の増加	15,678 円	(H25-29) 14,931 円	19,857 円	659%	・花育等、消費拡大プロモーション活動の実施	

(注) 成果目標の達成状況欄に達成状況の経過を記載すべき事業にあっては、記載例を参考に列を挿入し、記載するものとする。

持続的生産強化対策事業のうち次世代国産花き産業確立推進事業に関する事業評価票（再々評価）

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	対象作物・畜種名	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容		成果目標の達成状況			評価機関名	九州農政局
					達成すべき目標	目標値	基準年 平成30年度	目標年 令和6年度	達成率	具体的な取組内容	農林水産省生産局、政策統括官、地方農政局（北海道農政事務所、内閣府沖繩総合事務局）の評価所見
福岡県	—	花あふれるふくおか推進協議会	花き	R1	事業実施主体の活動区域における花きの単位数量当たり生産コストの低減【輪ギク】	52.0 円/本	55.0 円/本	49.4 円/本	187%	<ul style="list-style-type: none"> ・実需者が求める出荷規格に対応する栽培技術の実証 ・炭酸ガス施用による増収技術の実証 ・低コスト・省力生産技術等の導入実証 	<p>輪ギクの単位数量当たり生産コストの低減については、密植や摘心碎米により中位等級の出荷割合が高まり、単位収量当たりの生産コストを抑えることができ、目標を達成した。</p> <p>輪ギクの10a当たり収量の増加については、密植により出荷本数を増加させることができたものの、未達成となった。</p> <p>ガーベラの10a当たり収量の増加については、炭酸ガスの施用により出蕾から収穫までの生育期間の短縮を実証できたものの、夏場の高温により収量が減少し、未達成となった。</p> <p>トルコギキョウの生産の数量の増加については、地温や土壌水分に応じたかん水管理技術や防蟻灯を用いたヤガ類の被害軽減等を実証することができたが、高齢化や資材高騰の影響から生産者が減少しており、未達成となった。</p> <p>カーネーションの単位数量当たり生産コストの低減については、LED電照を用いた開花促進により収量は増加したものの、生産に係る資材費高騰の影響により生産コストが増加し、未達成となった。</p> <p>未達成の成果目標については、今後、事業実施主体に対して改善計画の提出を求め、達成に向けた取組を指導する。</p>
					活動区域における花きの10a当たり収量の増加【輪ギク】	41,126 本/10a	(H24-29) 39,164 本/10a	37,905 本/10a	-64%		
					活動区域における花きの10a当たり収量の増加【ガーベラ】	224,720 本/10a	(H24-29) 214,019 本/10a	197,886 本/10a	-151%		
					活動区域における花きの生産の数量の増加【トルコギキョウ】	3,364,900 本	(H26-30) 3,059,000 本	2,442,547 本	-202%		
					事業実施主体の活動区域における花きの単位数量当たり生産コストの低減【カーネーション】	46.0 円/本	49.0 円/本	54.8 円/本	-193%		
長崎県	—	長崎県花き振興協議会	花き	R1	長崎県内における花き生産金額の増加	90.2 億円	(H24-28) 82 億円	89 億円	85.4%	<ul style="list-style-type: none"> ・低コスト・省力生産技術等の導入実証 ・高品質化生産技術等の実証 ・生産・加工・流通における品質管理技術等の導入実証 ・花きの消費拡大プロモーション活動 	<p>コロナ禍の影響により令和2年度に68億円まで減少した花き生産金額は、低コスト・省力化生産、高品質化生産、生産・加工・流通における品質管理技術実証、及び花き消費拡大プロモーションを実施した結果、令和6度には89億円まで回復してきているものの、県の主要品目である輪ギクの作付面積の減少が大きく、回復しきっていないことから、未達成となった。</p> <p>今後は、事業実施主体に対して改善計画の提出を求め、達成に向けた取組を指導する。</p>

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	対象作物・畜種名	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容		成果目標の達成状況			評価機関名	九州農政局
					達成すべき目標	目標値	基準年 平成30年度	目標年 令和6年度	達成率	具体的な取組内容	
大分県	—	大分県花き産業振興協議会	花き	R1	活動区域における花きの販売業者の販売金額の増加	307,566 千円	(H25-29) 292,920 千円	194,800 千円	-670%	・消費拡大プロモーション活動 ・夏季・冬季イベントの開催 ・花育体験、園芸体験等による花きの活用促進	フラワーフェスティバルを開催する等、県内における花きの消費拡大を図ってきたものの、業務需要（冠婚葬等）の低迷に加え、物価高の影響から花きの消費は低迷しており、県内の花き販売業者の取扱数量が低下、それに伴い、販売金額も低下したため未達成となった。 今後は、事業実施主体に対して改善計画の提出を求め、達成に向けた取組を指導する
鹿児島県	—	かごしまの花消費拡大推進協議会	花き	R1	活動区域における花きの生産又は販売の数量若しくは金額の増加	7,617 千本	(H24-28) 6,924 千本	3,557 千本	-486%	・生産・加工・流通における品質管理技術等の導入実証	レザリーフファンの取扱数量及び販売業者の取扱数量については、生産性の向上や流通の効率化に係る取組の実施により生産・販売の拡大図ったが、コロナ禍で業務需要が低迷し、当該品目が大きな影響を受けたことに加え、夏場の高温の影響により出荷数量が減少したことから、未達成となっている。 今後は、事業実施主体に対して改善計画の提出を求め、達成に向けた取組を指導する。
					活動区域における花きの販売業者の取扱数量又は販売金額の増加	6,232 千本	(H25-29) 5,935 千本	2,889 千本	-1026%	・消費拡大プロモーション活動の実施	

(注) 成果目標の達成状況欄に達成状況の経過を記載すべき事業にあっては、記載例を参考に列を挿入し、記載するものとする。